

日本共産党 高槻市議員団 市政資料

発行/
日本共産党
高槻市議員団
高槻桃園町2-1
電話
072-674-7230
FAX
072-674-3202

中村れい子 ☎685-6686
宮本雄一郎 ☎695-1900
きよた純子 ☎676-5068
出町ゆかり ☎655-8513

濱田市長に2018年度・予算要望書を提出



左から濱田市長、中村団長、宮本、きよた、出町
各市議 12月6日
す。ここでは重点要望のみ掲載します。

12月6日、日本

共産党高槻市会議員団は、2018年度予算編成と市政運営にあたり、濱田剛史市長に要望書を提出しました。財政運営が厳しい中でも、切実な市民要求の実現に努力することを求める内容で、21項目の重点要望と100項目の市民要求からなりま

災害対策を重視し、 住み続けられるまちづくりを

- ◎特に浸水被害がひどい地域への雨水管の整備を早急に実施すること。
- ◎新名神高速道路の完成後も、水資源や河川への影響について継続的に調査、監視すること。
- ◎高槻の良さを生かした自然エネルギーを拡大すること。

くらしや福祉の 充実を図ること

- ◎国民健康保険料を一定程度値下げすること。
- ◎国民健康保険が大阪府との共同運営に移行しても、加入者の負担緩和と減免制度のために、市独自の繰り入れを行なうこと。
- ◎水道料金を値下げすること。
- ◎「高槻市みらいのための経営革新」については、拙速

子育て支援や教育の充実、 子どもの安全対策を強めること

- に具体化しないこと。特に現在、利用が無料の施設、敬老バスの無料制度を守ること。
- ◎市バスの民営化を進めないこと。
- ◎福祉4医療助成制度での自動償還払いを実施すること。
- ◎介護保険制度の改定による影響を調査すること。
- ◎公立幼稚園・保育所の統廃合、民営化はこれ以上行わないこと。また、市直営施設での部分民間委託も拙速に行わないこと。
- ◎児童虐待やDV等の防止のために総合的な対策を強化し、就学前施設、学校、児童相談所、警察などと協力し幅広く取り組むこと。
- ◎中学1年生での35人以下学級を実施すること。

国に対して要望すること

- ◎介護の現場で働く人への報酬を増やすこと。
- ◎国民健康保険へのペナルティを全面的にやめること。
- ◎介護保険の要介護1・2を総合事業の対象にしないこと。必要なサービスが受けられるようにすること。

大阪府に対して要望すること

- ◎人間ドックやがん検診への補助制度をつくること。
- ◎福祉4医療費助成制度の自己負担を増やさないこと。精神障害者は入院も対象にすること。
- ◎大阪府独自の学力テストはやめること。35人以下学級を拡大すること。
- ◎豪雨などの災害から市民を守るための対策を強化すること。そのためにも、森林整備を進めること。芥川、女瀬川、桧尾川の河川改修を早急に進めること。各河川の維持管理を強めること。
- ◎学校給食の運営費への補助制度を作ること。

12月市議会

小学校英語教育指導助手について

国は財政的な責任を 年度中の交代ないように

政府は、小学校で英語教育を教科化し、成績付けを行うことを決めています。小学校教員が英語授業を行うことや成績付け、授業時間の確保の難しさ、その結果、中途半端な英語授業になり、逆に「英語嫌い」の子どもを生まないか、など懸念が広がっています。高槻市では、中学校区に一人、計24人、授業などを補助する外国語指導助手（ALT）を配置します。24人を募集で集めることや労務管理が困難なことから、派遣会社とALTの派遣契約をします。

宮本議員は、4日の本会議で先行他市における派遣のALTの健康保険や労働保険の未加入などの事例を示し、労働者として権利が守られているか確認することを市に求めました。

6日の文教市民委員会では、出町議員が既に中学校に配置されているALTが夏休み・冬休みは仕事がないこ

35人学級の効果

高槻市は2012年4月から小学校全学年で、35人以下学級を実施しています。小学1年は国、2年は大阪府、3年から6年は高槻市が独自に実施しています。その結果、1クラスの人数は、40人以下だと平均33.4人ですが、35人以下だと平均29.0人になります。

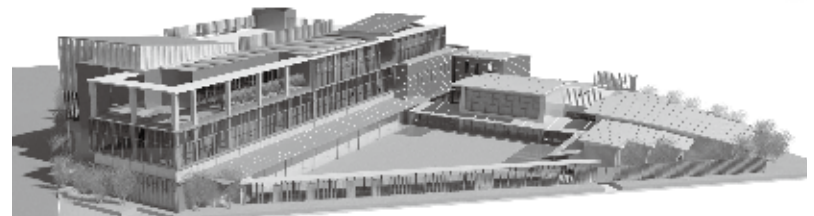
その効果として教室が広く見え、けがやストレスが少なくなり、保健室に行く子どもが減ったことや、先生がはじめを認知する件数が増えています。また、学力も向上しています。

子どもからは、「先生に質問しやすい」「落ち着いて授業が受けられる」「みんなが活躍できる」などの声が寄せられています。

先生からは「人数が少ないので、1人ひとりのスペースが確保され、ぶつかるなどのトラブルが減少した」「児童1人ひとりに向き合う時間が増えた」などの声が出ています。昨年度は1年契約（3年間延長できる）の教師36人、

とから、収入が少なく中途退職している実態を示し、担当教員との連携や子どもの学習は継続性が大切であるとして「一年間通して同一のALTを配置することを原則に」と求めました。

安満遺跡公園内の「子ども未来館」内容が示される

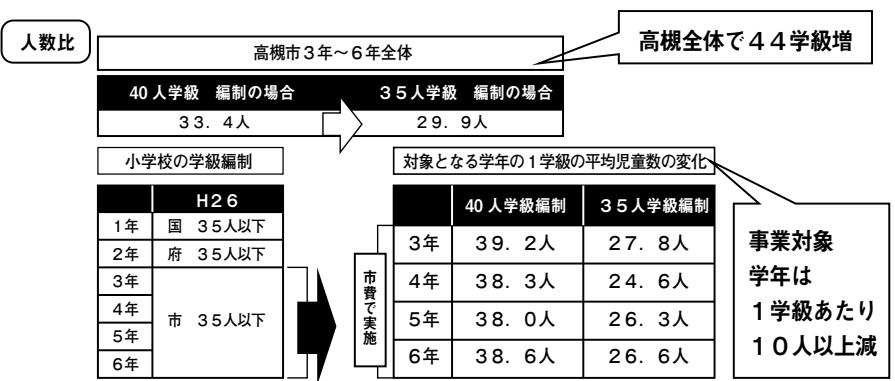


「高槻子ども未来館」外観イメージ図
(2015年3月史跡整備等特別委員会資料より)

6日の福祉企業委員会協議会で、再来年4月一部開園する安満遺跡公園内の「高槻子ども未来館」について説明がありました。

一階部分に200人規模の公立認定こども園を開設します。認定こども園は保育の研究・研修の実践の場としても活用します。また、「未来館」では平日の一時預かりを行い、面積では50人を保育できます。さらに病児保育、日曜・祝日にも保育を行う休日一時預かり保育も行います。

35人学級での学級規模の改善



OECD加盟国の平均は21.3人。
1学級あたりの児童数がOECD各国平均に近づく

保健室来室児童の減少



週4日勤務の教師10人、今年度は同じく33人と、10人を市で雇用しています。小学校全体で620クラスあり、35人以下学級で43クラス増えています。